【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成31年3月7日(2019.3.7)

【公開番号】特開2018-77885(P2018-77885A)
【公開日】平成30年5月17日(2018.5.17)
【年通号数】公開・登録公報2018-018
【出願番号】特願2017-248415(P2017-248415)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｑ　30/06　　(2012.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｑ　30/06　　３３２

【手続補正書】
【提出日】平成31年1月7日(2019.1.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
商品ごとに、ショッピングカート投入ボタンを備える商品メニュー専用画面の前記ショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する前記商品の前記ショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、前記商品メニュー専用画面に表示させることを特徴とする方法。
【請求項２】
プロセッサを、
商品ごとに、ショッピングカート投入ボタンを備える商品メニュー専用画面の前記ショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する前記商品の前記ショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、前記商品メニュー専用画面に表示する手段として機能させるための制御プログラム。
【請求項３】
商品ごとに、ショッピングカート投入ボタンを備える非ショッピングカート画面の前記ショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する前記商品の前記ショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、前記非ショッピングカート画面に表示させることを特徴とする方法。
【請求項４】
プロセッサを、
商品ごとに、ショッピングカート投入ボタンを備える非ショッピングカート画面の前記ショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する前記商品の前記ショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、前記非ショッピングカート画面に表示する手段として機能させるための制御プログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記課題を解決するため本発明の方法は、商品ごとに、ショッピングカート投入ボタン

を備える商品メニュー専用画面の前記ショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する前記商品の前記ショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、前記商品メニュー専用画面に表示させることを特徴とする。
また、商品ごとに、ショッピングカート投入ボタンを備える非ショッピングカート画面の前記ショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する前記商品の前記ショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、前記非ショッピングカート画面に表示させることを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
ところで、上記従来の電子商取引方法は、商品メニュー専用画面若しくは非ショッピングカート画面のショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する商品のショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、商品メニュー専用画面若しくは非ショッピングカート画面に表示させることができないと言った問題があった。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
そこで、本発明の目的は、商品メニュー専用画面若しくは非ショッピングカート画面のショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する商品のショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、商品メニュー専用画面若しくは非ショッピングカート画面に表示させることができる方法および制御プログラムを提供することにある。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本発明によれば、方法および制御プログラムは、商品メニュー専用画面若しくは非ショッピングカート画面のショッピングカート投入ボタンの押下を検出した際に、対応する商品のショッピングカートへの投入数量の指定手段若しくは変更手段を、商品メニュー専用画面若しくは非ショッピングカート画面に表示させることができる。